

3D都市モデルの作成と利活用による"まちづくりのDX"を支援 ～ Project "PLATEAU" のポータルサイトをオープン ～

朝日航洋株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:尾暮敏範)は、国土交通省が推進する『Project "PLATEAU"^{プラトール}』において、3D都市モデル作成業務に参画し、当社で長年にわたり培ってきた地理空間情報分野の知見を活用することで、“まちづくりのDX”の取組みを支援し、Society5.0の実現やスマートシティの推進などに貢献してまいります。

Project "PLATEAU"^{プラトール}で目指している防災、都市サービス創出等の実現に向けた支援の一例として、水防災政策に役立てるため、3D都市モデルにおける防災指針の策定や水害発生時の地域住民の避難シミュレーションを行うなど、その実効性を高めてまいります。また、3D都市モデルを都市計画や景観検討へ利活用することで、「我がまちの将来像」の見える化を行い、地域住民のまちづくりへの参加意識の向上やデジタル社会におけるまちづくりの取組みに寄与します。



3D都市モデルで郡山市中心域を阿武隈川側から俯瞰した画面イメージ

Map the New World. ～Project "PLATEAU" のティザーサイトをオープンします～

国土交通省では、本日より、プロジェクトの成果を情報発信していくためのティザー版ウェブサイトを開示し、東京23区全域を網羅した3D都市モデルなどを先行公開しています。ウェブサイトでは、プロジェクトの進捗プロセスを継続的に発信（ウェブサイトやSNSを通じて3D都市モデルやそのユースケースを順次公開）していくと同時に、3D都市モデルをはじめとする各種データをオープンデータ化し、誰もが活用できるようになります。



PLATEAU
by MLIT

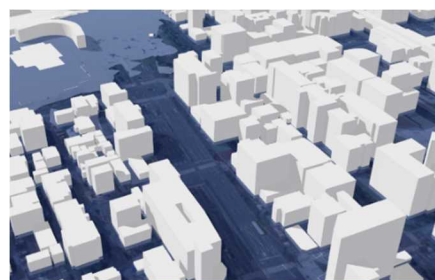
【Project "PLATEAU"】 ウェブサイト：www.mlit.go.jp/plateau/、Twitter：[@ProjectPlateau](https://twitter.com/ProjectPlateau)
【国土交通省プレスリリース】 https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi03_hh_000068.html

Project "PLATEAU"^{プラトール}とは？

3D都市モデルとは、都市空間に存在する建物や街路といったオブジェクトに名称や用途、建設年といった都市活動情報を付与することで、都市空間そのものを再現する3D都市空間情報プラットフォームです。

様々な都市活動データが3D都市モデルに統合され、フィジカル空間とサイバー空間の高度な融合が実現します。これにより、都市計画立案の高度化や、都市活動のシミュレーション、分析等が可能となります。

国土交通省では、現在、Project "PLATEAU(プラトール)"として、全国約50都市の3D都市モデルの整備と、これを活用した都市計画・まちづくり、防災、都市サービス創出等の実現を目指す「まちづくりのDX」の取組を推進しています。



例：浸水想定区域図を3D都市モデルに重ねることで、避難場所の検討など防災政策の高度化に活用できる

国土交通省提供資料

■本件に関するお問い合わせはこちら

朝日航洋株式会社 商品企画部 TEL:049-256-7862

■報道機関からのお問い合わせはこちら

朝日航洋株式会社 企画室広報 TEL:049-245-2548